

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- ▶ 平坦地に優良農地が多く、タマネギの栽培が盛んな地区
- ▶ 新規就農者が数名就農しているものの、高齢化の進展や離農者の増加により、遊休地化、耕作放棄地の発生も懸念される状況。

【支援内容・背景】

- ▶ 遊休地化、耕作放棄地化を回避し、優良なタマネギ産地を維持するためには、個々の農家の経営負担面積の増加に対応する省力化技術・機械の導入や対応する労働力の確保の支援とともに、特長あるタマネギ産地の育成に向けた支援を推進する必要。
- ▶ 助成対象者は、地区内で、大規模に有機栽培によるタマネギ生産を行う法人。同法人を地区におけるタマネギ生産のモデル経営の一つとして育成し、魅力あるタマネギ産地の形成をより一層進める

北海道



滝川市

助成対象者「有ノザワ農場」の経営の状況と事業内容

《事業活用の背景》

有機栽培タマネギを中心に据えた経営を志向。

収穫した有機栽培タマネギの消費者への直接販売により売上高の拡大を図るため、高能率タマネギ選別ラインを導入

また、有機栽培タマネギの経営面積拡大に向けボトルネックとなる防除作業の効率化・省力化を図るため、高能率スプレーヤーを導入

【経営の経緯】

- ▶ 平成19年 有機JAS認証の取得
- ▶ 平成21年 農業経営改善計画の認定

【事業実施時の状況】  
(H29年度)

- 付加価値額 19百万円
- 経営面積 27.5ha

《事業による整備内容》

- 玉ねぎ選別ライン 一式  
事業費 5,956千円  
(国費 2,757千円)
- けん引スプレーヤー 6000ℓ  
事業費 8,300千円  
(国費 3,842千円)



【現在の経営状況】  
(R3年度)

- 付加価値額 37百万円 (194%)
- 経営面積 32.3ha (117%)

事業の  
効果

《対象者》 防除作業の効率化・省力化が図られ、有機栽培玉ねぎの正品率が向上。また、消費者への直売により売り上げが増加、経営面積及び付加価値額が拡大。

《地区》 助成対象者の経営が発展し、地区内農地の受け手農家として確立。また、今後想定される有機栽培農業の普及備えた知識や技術が蓄積。